

第18回名古屋市障害者スポーツ大会 実施要綱

1 目的

障害のある方がこの大会に参加し、技と力を競い合い、スポーツの楽しさを体験するとともに、人々との交流の輪を広げ、市民の障害に対する理解を深めることによって、障害者の自立と社会参加の推進に寄与することを目的とする。

2 主催

名古屋市・社会福祉法人名古屋市身体障害者福祉連合会・社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会・名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会・特定非営利活動法人名古屋市精神障害者家族会連合会・名古屋市特別支援教育研究協議会・社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会・社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

3 後援

(公財)名古屋市教育スポーツ協会・(株)中日新聞社・(社福)中日新聞社会事業団・(社福)朝日新聞厚生文化事業団・(公財)毎日新聞大阪社会事業団・東海テレビ放送(株)・(社福)東海テレビ福祉文化事業団・東海ラジオ放送(株)

4 協力

名古屋市陸上競技協会・名古屋市水泳連盟・愛知県卓球協会・名古屋市アーチェリー協会・名古屋市ボウリング協会・名古屋市ソフトボール協会・愛知県フライングディスク協会・愛知県バレーボール協会・愛知県ソフトバレーボール連盟・あいちボッチャ協会・名古屋障害者スイミングクラブ「ウェーブ」・フラミンゴアーチェリークラブ・なごや精神障がい者バレーボールを広める会・名古屋女子大学中学校高等学校マーチングバンド部・日本ボーイスカウト愛知連盟・名古屋市障がい者スポーツ指導者協議会・名古屋市障害者スポーツセンター登録審判員・名古屋市障害者スポーツセンターボランティア、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会

5 競技別開催日及び会場

競技名	開催日	会場
ソフトボール	令和3年 4月21日(水) 予備日 4月23日(金)	小幡緑地公園 球技場・野球場
陸上競技	令和3年 5月 9日(日)	パロマ瑞穂北陸上競技場
フライングディスク		パロマ瑞穂レクリエーション広場
アーチェリー	令和3年 6月13日(日)	名古屋市猪高緑地アーチェリー場
水泳	令和3年 8月22日(日)	名古屋市障害者スポーツセンター
ボッチャ	令和3年 9月 5日(日)	日本ガイシ スポーツプラザ
ボウリング	令和3年 11月 7日(日)	スポルト名古屋
卓球	令和3年 11月14日(日)	名古屋市障害者スポーツセンター
バレーボール	令和3年 11月18日(木)	名東スポーツセンター

6 参加資格

参加資格は、次の全ての条件を満たす者とする。

- (1) 令和3年4月1日現在、13歳以上の身体障害者、知的障害者及び精神障害者とする。ただし、水泳・卓球・アーチェリー・ボッチャ・ボウリング・バレーボールの部に関しては、12歳以上とする。
- (2) 身体障害者は、身体障害者手帳の交付を受けた者とする。知的障害者は、愛護(療育)手帳の交付を受けた者、あるいはその取得の対象に準ずる障害のある者とする。精神障害者は、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者、あるいはその取得の対象に準ずる障害のある者とする。
- (3) 大会当日に、名古屋市内に現住所を有する者とする。ただし、名古屋市内の施設や学校等に入所、通所並びに通学している者は、参加しても差し支えないものとする。
- (4) 大会出場に際して、特に健康上問題のない者とする。

7 競技種目

競技種目は次の9競技とし、細目は競技・種目表で定める。

- (1) 陸上競技(身体障害者・知的障害者)
- (2) 水泳(身体障害者・知的障害者)
- (3) 卓球(身体障害者・知的障害者・精神障害者)
- (4) フライングディスク(身体障害者・知的障害者)
- (5) アーチェリー(身体障害者のみ)
- (6) ソフトボール(知的障害者のみ)
- (7) ボウリング(知的障害者のみ)
- (8) バレーボール(精神障害者のみ)
- (9) ボッチャ(身体障害者のみ)

ただし、これ以外に普及啓発、市民との交流を目的にレクリエーションなどを実施する場合がある。

8 競技規則及び区分

規則等は、当該年度の(公財)日本障がい者スポーツ協会編 全国障害者スポーツ大会競技規則と大会申し合わせ事項による。

9 表彰

- (1) 個人競技(陸上競技・水泳・卓球・フライングディスク・アーチェリー・ボウリング・ボッチャ)
ア 各組それぞれ上位3名までを入賞者として表彰する。

イ 出場者全員に記録証を授与する（卓球・ボッチャの部を除く）。

(2) 団体競技（ソフトボール・バレーボール）については、上位3チームまでを入賞チームとして表彰する。

10 出場申込

(1) 個人競技に出場しようとする者は、所定の申込書に必要事項を記入し、区役所福祉課または名古屋市障害者スポーツセンターへ申し込むこと。また、施設・学校に入所・通所・通学している者については、施設・学校単位で出場希望者を取りまとめ申し込むことができる。

(2) 申し込みの期間は、陸上競技・フライングディスクの部は2月1日～2月28日、アーチェリーの部は4月1日～4月30日、水泳の部は6月2日～6月30日、ボッチャの部は7月1日～7月31日、卓球・ボウリング・バレーボールの部は9月1日～9月30日までとする。

(3) 陸上競技の部の400mリレー、水泳の部の100m・200m自由形リレーについて、出場希望のチームは申込書に必要事項を記入し、区役所福祉課または名古屋市障害者スポーツセンターあてに申し込むこと。

（知的障害者のみ）

(4) ソフトボールに参加を希望する場合は、スポーツ市民局スポーツ推進部スポーツ振興室へチーム単位で申し込むものとする。

(5) バレーボールに参加を希望する場合は、名古屋市障害者スポーツセンターへチーム単位で申し込むものとする。

11 出場制限（個人競技）

(1) 選手1名の競技への出場は、次のとおりとする。

ア 陸上競技注1、2 別表「障害区分及び競技・種目表」よりいずれか1種目。

イ フライングディスク注1 別表「障害区分及び競技・種目表」よりいずれか1種目。

ウ 水泳注2 別表「障害区分及び競技・種目表」より2種目まで参加可能。

エ アーチェリー 別表「障害区分及び競技・種目表」よりいずれか1種目。（身体障害者のみ）

オ ボッチャ 別表「障害区分及び競技・種目表」よりいずれか1種目。（身体障害者のみ）

カ 卓球 別表「障害区分及び競技・種目表」よりいずれか1種目。

注1 同日に行われる、陸上競技とフライングディスクは、どちらか1競技を選択すること。

注2 陸上競技もしくは水泳に参加した選手は、個人種目以外に「リレー種目」にも参加できる（知的障害者のみ）。但し、リレーのみの参加は認めない。

(2) 理由のいかんを問わず、競技会当日の出場申込み及び選手の交替は認めない。

12 参加費

ソフトボールは1チーム4,000円とする。それ以外の競技については無料とする。

13 健康・安全管理

(1) 参加選手及び役員の健康・安全管理については、参加する個人及び団体において十分配慮する。

(2) 主催者は、大会開催中の負傷・事故について応急手当はおこなうが、その他の責任は負わない。

14 全国大会派遣選手の選考

本大会の記録は「全国障害者スポーツ大会」名古屋市代表候補選手選考の参考とする。

（上記の大会へ出場を希望する者は、当大会の各競技申込書にある所定の欄に申込を記入する。）

15 その他

(1) 大会開催中の損失、損害、傷病、肖像権などについては、損害賠償を大会側に請求できない。

(2) 介助、付添等が必要な参加者は、参加者自身あるいは所属団体が準備すること。

16 参加するにあたり

(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加当日及び過去14日以内に以下に該当する方は参加を見合わせる。

・体調が良くない場合（咳、熱がある、喉が痛いなど風邪の症状がある、だるさ、息苦しさ味覚や嗅覚に異常がある）

・同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合

・入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当外在住者との濃厚接触がある場合

(2) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加する際は、以下の内容に協力すること。

・マスクの着用（受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際など）

・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒

・他の参加者、施設管理者スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること（障害者の誘導や介助を行う場合を除く）

・利用中に大きな声で会話、応援等しないこと

・感染拡大防止のために施設管理者が決めたその他の措置を守り、施設管理者の指示に従うこと

・利用終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症に感染した場合は、名古屋市障害者スポーツセンターに対して速やかに報告すること

※新型コロナウイルス感染状況により、中止、変更する場合があります。

17 実施細則

この要綱に定めるもののほか、大会の実施に関して必要な事項は別に定める。

附則 この要綱は令和3年2月1日から実施する。